

序論

慈愛深き慈悲深い神の御名において

これは人類への神の最後のお告げである。すべての神の預言者達はこの世に来た、そしてすべての経典が届けられた。預言者達によって届けられたすべてのお告げを清め、統合し、一つのお告げにする時が来たのである、そして神によって許可される宗教は1つだけ「服従」であることを宣言する時が来たのである（3：19, 85）。「服従」とは、我々が神の絶対的権威を認知し、**神のみ**がすべての力を所有しているという揺るがない確信に到達することである。だから彼から独立して力を所有する存在は何もないのである。それが本当であるという認識の当然な結果は、我々の人生と我々の崇拝を絶対的に**神のみ**に捧げることである。これは旧約聖書、新約聖書、そして最後の聖書を含むすべての経典の最初の戒律である。

聞きなさい、おおイスラエルよ！主は私たちの神は唯一の神！

だからあなた方は主、あなた方の神を

あなた方の心のすべてで、

あなた方の魂のすべてで、

あなた方の精神のすべてで、

あなた方のすべての力で、

崇拝しなければいけない。[申命記6：4-5、マルコによる福音書福音書12：29-30、コーラン3：18]

神に、彼の栄光な特質に瞑想をしよう、

その創造主、この宇宙のすべての基礎であるお方、

遍在、全能、全知であり、崇拝されるにふさわしいお方

そして自己存在を意識しておられる、

すべての無知と不純を精神から取り除き、

私達の知性を清め鋭くするお方。

ガヤトリ・マントラ、ヤジュル・ベータ

どの宗教も、発明、伝統、そして偽り、偶層崇拝なる学説によって原形がそこなわれている間、どの宗教にも「服従者達」がいるかもしれない。それらは、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教、ヒンズー教、仏教、またはその他の服従者達。これらの服従者達は、集団として、神によって認められている唯一の宗教を構成している。この本のはじめのテーマでも強調したように、**神のみ**に崇拝を捧げ、神の隣に偶層を置かないすべての服従者達は、神の永遠の王国に贖われる（2：62）。真の服従者の判断基準は、コーランの中に、逆らうことが何一つ見つからないことである。

この経典の到来に伴い、神の世界へのメッセージがいま完了した。私達は今、長い間待ち続けていた最も強く要望していた質問の答えを受け取ったのである。－ 我々が誰であるか、我々の人生の目的、我々がこの世にどのように来たのか、我々はここからどこへ行くのか、どの宗教が正しいものなのか、生物進化論か、創造なのか、などである。

中には不思議に思うものいるであろう、「なぜ神は彼のメッセージを完璧にし、統一するのを今まで待っていたのか？ 完璧な経典を受け取らなかったアダム以来のすべての人々は？」 コーランはこの質問に対して20：52に答えている。これはおよそ簡単な統計値であり、初めから今日までの世界の人口は70億人を超えていない。今日からこの世の終わり、2280 A.D.（西暦2280年）（付録25）の世界人口の総合は750億を増すと見積もられている。ということは、かなりの大多数の人々が神に清められ、統括されたメッセージを受ける運命にあるということになる。

今（1990年）からこの世の終わり（2280年）までの世界人口

黒のところはアダム以来の人口を示す

創世記の前

すべては数十億年前に始まる、神の高階級の創造物の一人であるサタンが、神像として主権をまかなうことができるなどという、傲慢な考えを持ち出した。絶対なる神への権威へのこの挑戦は、不敬だけでなく、誤りであった。サタンは神のみが神としての能力を所有しているということ、そして彼が気づいたよりもっと多くの神の性質があることの実態に無知であった。それは自我だった－傲慢さが無知によって増大したのである。それがサタンに彼が多神として主権をもって、病気、貧困、戦争、事故、そして災難なしに営むことができると思ったのである。神の創造物のおびただしい大多数はサタンに反対した。しかし、利己的なほんの少数、数十億程度が彼に賛成した。そのため、深遠な抗争が天国社会で激発したのであった。（38：69）正当と認められない反抗者達の神の絶対的な権威への挑戦が直面した、そしてそれは最も効率的に解決された。反抗者達に、彼らが彼らの罪を認め、神に服従するための十分な機会を与えた後、中核的反抗者を地球という名の宇宙船へ追放することを決断した、そして彼らに罪をつぐなうためにさらにもう一度の機会を与えたのである。

もしあなた方が飛行機を飛ばすことができると主張した場合、そのあなたの主張を試験する一番いい方法はあなた方に飛行機を与え、それを飛ばしてもらうことである。まさにそれはサタンが神像になれるという主張にたいして神が定めた答えである、神は彼を非常に小さな1点である地球の一時的な神像にしたのである。

(2:30、36:60)。サタンに賛成したもの達に関しては、彼らの自我を殺し、神の絶対的權威に服従する機会が与えられた。大多数の罪深い創造物達はこの好機に乗じた間、ほんの少数である1500億の創造物はこの申し出を利用することに失敗した。(33:72)

白い部分はサタンに賛成しなかった大多数を示す

灰色は、悔い改め、服従した大多数を示す

この天国の社会での抗争は神の創造物達を違ったカテゴリーの分類へと導いた。

(1) 天使達

神の絶対的な權威に決して質問をしなかった創造物達は天使と分類された、彼らは神のみが神としての能力と資格を持っていることを知っていた。大多数の神の創造者達、数えきれない数がこのカテゴリーにはいる。天使の数は非常に莫大であり、天使達さえその数を知らない、神のみが彼らの数を知っているのである。

(2) 動物達

天使達は、反抗者達と彼らのリーダーは神の王国から追放されるべきだと提案したが、最も慈悲深いお方は、その反抗者達に彼らの罪を非難し、悔い改め、彼の絶対的な權威に服従する機会を与えることを意志した(33:72)。上の図に示したように、大多数の反抗者達は、彼の王国に再度入れるように神の慈愛深い申し出の好機に乗じた。彼らは彼らの自我を殺し、彼らの罪のつぐないのためにこの世に来て服従的任務を行うことに同意した。この服従的任務をこの世にて行うことによって、これらの創造物達は神の永遠の王国に戻れるのである。馬、犬、木、太陽、月、星、奇形や知恵遅れの子供達は、彼らの罪を非難し、悔い改めた知的な創造物達なのである。

あなたは天国と地球のすべてが神に平伏していることに気がつかないのか；太陽、月、星、山々、木々、動物達、そして多くの人々が？しかしながら多くの人々は、天罰が運命づけられている。

(22:18)

星と木々は伏し拝んでいる。(55:6)

馬は自我が無い。馬の飼い主が豊富だろが貧乏だろうと、背が高かろうが低かろうか、太っていようが痩せていようが、若かろうが年取っていようが、馬はそれらすべてに使えるであろう。犬は自我が無い。飼い主がどんなに豊富であろうが貧乏であろうが、飼い主にしっぽを振るであろう。太陽は、神によって定められた時間きっちりに毎日昇りそして沈む。月は地球の周りの軌道に少しもずれることなく従う。人間の体 - 仮の衣 - は地球に属する、だからそれは服従者なのである。心臓、肺、腎臓、そして他の臓器は我々の管理なしに機能を実行している。

(3) 人間達

中核的反抗者達 - 人間達とジン達 - 彼らの罪を非難することを拒否し、サタンの主張のデモの証人を選択した。神の絶対的権威に服従することに失敗し、後に

さらにそうする機会を与えられても、自己中心的な創造物達は2つに分かれた。サタンの主張に納得しきれなかった半分は、人間と分類された。彼らはサタンの主張に疑いを抱いていたが、彼らは神の絶対的権威に関して、断固たる態度をとることに失敗した。自我がこれらの創造物達を全能なる神を感謝するのを妨げたのだった、そしてその自我が、彼らに新たな機会が与えられた時、服従することを妨げたのだった、そしてその自我が、我々の大半と、神の王国への罪のつぐないの間に立ちはだかっているのである。だから 「自我を殺しなさい」という戒律はコーランの主要な戒律の一つの理由である。(2 : 54)

(4) ジン達

サタンの主張をより親密に学び、大きな自我を表したもう半分の罪深い創造物達は、ジンと分類された。神の計画で、一人の人間が生まれてから死ぬまで、一人のジンが割り当てられた。ジン伴侶は、サタンを代理し、常に彼の主張を進めるのである。(50 : 23, 27) ジンと人間の両方は、彼ら自身を再教育するため、彼らの自己主義を非難し、神の絶対的権威に服従することによって彼らの罪をあがなうための貴重な機会をこの世で与えられる。

一人の人間が生まれる度、ジンが生まれ、その新しい人間に割り当てられる。コーランから習うように、ジンはサタンの子孫である。(7 : 27, 18 : 50) 一人のジンが生まれ、一人の人間についた時、そのジンはその人間が死ぬまで常にその人間の伴侶となる。ジンはその後自由になり数世紀生き続ける。人間もジンも神のみを崇拜することを命じられている。(51 : 56)

神はロボットを欲しくない

38 : 69に明言され、上記に記載された天国社会での抗争は、神の創造物達が選択の自由を持っていることを証明する、彼らは彼ら自身の精神を持っているのである。神の創造物の中のほんの少数しかいない反抗者

達は、神の創造物達が彼に仕えるのは、彼らが神の無限の偉大さに感謝しているからであるという素晴らしい事実を強調するために役立った。反抗なしには、自由というものが神の創造物達への神の贈り物であるということ、決してわからなかったであろう。

最も慈愛深き最も慈悲深いお方

我々のこの世の次元でさえ、どんな企業も従業員達に忠実に企業の繁栄に専念することを期待する。もし従業員がその企業に完全に専念していなかったり、忠誠が分散していることが表らわれた場合、彼は直ちに解雇されるであろう。人間達とジン達は、サタンの見方をし、さらに彼らの反抗に対して考え直すための神からの申し出を断ったため、天使達は、サタンと彼の仲間を神の王国から追放することが当然のことと期待した（2：30）。我々の罪を非難し、我々の罪を贖うためのさらなる機会をくれたことは、神の計り知れない慈悲だったのだ。

この罪のあがないの極端な慈悲深い計画を実行するにあたって、神は「死を創造された」（67：1-2）。この神聖な計画は、反抗者達を、彼らが天国の争いの心覚えのない他の実在に連れていくことを必要とした。その状況下であるこの世は、人間達とジン達は、神のお告げとサタンのお告げを受け取り、自由にどちらでも選ぶことができる。そして彼らの自由な意思よっての決議が彼らを神の王国へとあがめられるか、またはサタンと一緒に永久に追放されることになるのである。

サタンの一時的な主権

サタンの計画した主権の完全な無意味さ強調するため、神は10億の銀河、10億兆の星を、何十億光年に広がる巨大な宇宙の中に創造した。もし私達が光の速さで太陽（93,000,000マイル）に向かって旅をするなら、私達は8分でそこに着くであろう。もし私達があるまゝいけば、光の速さで5年から7万年後、私達の天の川銀河の終わりに行き着くであろう。一番近い銀河に行くには、光の速さで200万年かかるであろう、そして我々の宇宙には最低二十億の銀河がある。最も強力な望遠鏡を使って見る地球は、我々の銀河の端からは全く見る事はできない。まるで我々の宇宙が十分に巨大ではないかのごとく、神はさらに私達の宇宙を取り巻き、しかも大きな宇宙を6つ創造した（2：29、67：3）。それから神はサタンに、宇宙の最内層にある最小なる極めて小さなほこりの大きさのもの、地球が彼の主権であることを伝えた。彼の物理的存在が耐えられない宇宙に、人間達とジン達が置かれることが神の計画に必要とされた（7：143）。このように神の十分な知識と支配の下で、サタンは彼の極めて小さい王国を神の物理的存在から遠く離れたところで支配している。注意して心に留意すべきことは、罪を悔い改めた反抗者達の数はいかに多く、地球がそれらすべてを対応することは不可能であった。そのため、数えきれない何十溝の創造物達は、太陽系外の空間に置かれた。

アダムとイブ

最初の人間の体は神の指示に従って神の天使達によって形作られた（7：11）それから神は最初の人、アダムをその体に割り当てた。神が天使達に、彼らの試験期間ずっと人間達に仕えるであろうこと―彼らを守り、風を運行し、雨や供給を分配、その他―を知らせた時、サタンは「伏し拝む」ことを拒否した唯一の者だった（2：34、15：31、38：74）。アダムの配偶者は、アダムから女性の特徴と共にクローンされた、そして神は彼女の体に2番目の人間を割り当てた。アダムとイブの空の体（魂の無い）がこの地球に残存する間、彼らの魂、本当の人は、天国に住んでいた。アダムとイブは、神の命令を支持する限り天国に残った。彼らが代わりにサタンの言うことを聞いたとたん、彼らは私達すべてにある人間性の欠如を映し出した、そして彼らは直ちにサタンの王国、低い地球に所属した―「彼らの体は彼らの目に見えるようになった。」（7：20、20：121）。残りはご存じのとうりである。

サタン、すなわちすべてのジンの父親

ジン達と人間達を試験するために、サタンは一人の人間が生まれるたびに、繁殖されなければいけない。先にも記したように、一人の人間が生まれる度に、その人間の人の絶えず続く伴侶として仕えるジンが生まれる。どの人間も皆、生まれてから死ぬまで同じ体に住むサタンの代表によって絶え間ない説得をされる。サタンの代表者は、神だけでは不十分であるという、サタンの視点をその人間の伴侶に納得させようとする。最後の審判の日、ジン伴侶は人間の片われに対して証人として仕える。（43：38；50：23、27）。多くのジン伴侶は人間によって神の視点に改心する。神は準備なしに人間を取り残すことはしなかった。彼らの神へ不敬を考え直すための彼らの最後の機会に人間達を助けるために、どの人も皆、私達の主と主人は、神のみ、そして他には誰もいないという本能的知識を持って生まれた（7：1720173）。ジンはこの本能的知識は与えられなかった、しかし彼らは最内層にある宇宙にて神のおしるしを学ぶために、もっと長い寿命とより優れた能力を与えられた。彼らはサタンの視点を代表しているため、彼らの自然本能は多神教を好むほうに強くかたむいている。神のみに服従する我々の持つて生まれた本能に加えて、神は我々を罪からあがなうための助けに使者達を送った。これらすべての要素を見ると、許されることのないたった一つの違犯が（もし死ぬまで続けると）偶像を崇拜すること、神以外の誰かがなんらかの力を所有していることを信じることであり、という事実を感謝することができる。

40年の恩恵の期間

人類は、この最も重要な決断―サタンの視点を主張するか、神の絶対なる権威を主張するか―を決める前に、40年の間、学び、見学し、見直し、思案し、そしてすべての視点を調査する期間を与えられている。誰でも40歳になる前に死ぬものは神に選ばれたもので、神のみが知る状況によって救われる。誰でも40歳前に死ぬものは天国に行くのである（46：15、付録32）。コーランを信じる者達にとっても、この情け深い神聖なる法を認めることは難しいという事実からも、神の計りしれない慈悲が明かである。神の使者達は私達を罪から贖うための神から与えられた機会の良い知らせを伝えた、そして彼らは恐るべき神からのおしるしで支援されてきたのである。モーゼスがファラオに行った時、彼の杖が蛇に変わったような奇跡で支援された。イエスが神の許可を受けて、泥から生きている鳥を創ったり、神の許可を受けて、ハンセン病や盲目を

治し、神の許可を受けて、死人を生き返らせた。ムハンマド、最後の経典を持ってきた神の預言者は、そのような奇跡は公開しなかった（10：20）。コーランそのものがムハンマドの使命を支援する奇跡であった（29：50－51）。14世紀の間、ムハンマドからコーランの奇跡を切り離していたのは、その神聖な英知であったのである。私達はコーランの数学的奇跡（付録1）が重大な次元であることがわかる現在、もしこの奇跡がムハンマドをどうして啓示されたとしたら、何百万の人々が彼を人間の姿をした神として服従したであろう。

真実性の証明 物理的、実体的、反論のできないもの

コンピューター時代の到来によって、我々はコーランの数学的コード、74：30－35に示すように、「偉大な奇跡の一つ」を発見した。以前の使者達に与えられた奇跡は時間と場所に限りがあったがこのコーランの奇跡は永遠である。モーゼスやキリストの奇跡は少数の人達しか証人することができなかったがこのコーランの奇跡は誰にでもいつでも証人することができる。なおその上、コーランの奇跡はすべての過去の奇跡を記録し、証明する（5：48）。付録1にも記載してあるように、コーランの数学的奇跡は数字19を基礎にしている。読者にこの畏敬の念に打たれる奇跡を分かち合ってもらうために、「神」という語が、英語のテキストで大文字かつ太文字で印刷されている、そして発生の累積数が各ページの左下に示されている。この最も重要な語の発生の合計はコーランの最後の2698と示されている。この合計は19の倍数である。その上、「神」という語が発生するところと与えてある節の番号をたすと、その合計は118123となり、19の倍数となる（19 x 6217）。「神」という語が発生するところの節の番号をたした累積は各ページの右下に示してある。これら単純な物理的事実は、読者によって簡単に確かめることができる、そしてそれらは、コーランの数学的構成が超人間的な性質を超えたものである証明として十分である。

読者によって確かめられる真実の証明

語“神”の合計カウント (各ページの左下に示している)	節の番号の合計 (右下に示している)
2698 (19 x 142)	118123 (19 x 6217)

コーランの並外れた数学的構成に付け加えて、私達は現代科学によって証明されたもの、または学説されている多くの数のコーラン的事実を見つけた。

1. 地球は卵型である（10：24、39：5、79：30）。
2. 地球は静止していない、つねに動いている（27：88）。
3. 太陽は光の源であり、月はそれを反射している（10：5、25：61、71：16）。
4. 私達が空へ向かって上っていくと、それと比例した酸素が減少する（6：125）。
5. 宇宙大爆発論（ビッグバン論）は確証されている（21：30）。

6. 宇宙膨張論が確証されている（51：47）。
7. 宇宙は気体の集結から始まった（41：11）。
8. 与えられた種類の中では、進化論は事実である、進化論は神聖に導かれた過程である（21：30、24：45、32：7-9、18：37、15：28-29、7：11、71：13-14、付録31）
9. 人間の精液は赤ん坊の性別を決める（53：45-46）。

無意味のないことは全くない

同様な奇跡は、コーランに無意味なことが無いことである。これはコーランが啓示された時代、無知と迷信が支配していた時代にとって特に意味深い。例えば、従来のイスラム教徒の中で最も敬意された解釈は、イブ・カティアのもの。預言者の何百年も後書かれたこの有名な参考文献には、地球は巨大な鯨の上に立っている4万の角をもつ巨大な雄牛に運ばれている。（節68：1のイブ・カティアの訳を参照）。

1975年の近年でも、コーランが啓示された同じ場所、サウジアラビアのメディナのイスラム大学の学長、シェイク・アブドル・アゼイズ・ベン・バズは、地球は平らで、静止していると宣言している。（書き込みを参照）！！

الأدلة النقلية والحسية على جريان الشمس وسكون الأرض

من مطبوعات الجامعة الإسلامية
بالمدينة المنورة ١٣٩٥ هـ

عبد العزيز بن باز

ولو كانت الأرض تدور كما
يزعمون لكانت البلدان ، والجبال ، والأشجار ، والأنهار ، والبحار
لا قرار لها ، ولشاهد الناس البلدان الغربية في المشرق ، والمشرقية في المغرب ،
ولتغيرت القبلة على الناس حتى لا يقرّ لها قرار

ベン・バズの本の翻訳の23ページ、「もし彼らが断言するように地球が回転しているならば、
国、山、木、川、そして海には底がなく、人々は東の国々が西へ動き、西の国々が東に動くの
見るであろう。」

完璧な幸せ、今そして永遠に

人間の最もわかりにくい目的の1つは、「幸せ」である。コーランは、この人生そして永遠に、完璧な幸せの到達するための秘密を啓示している。私達はコーランから、幸せとは魂の独占的な質、と学ぶ。だから体が欲

しがるすべての世俗的成功 — お金、権力、名声、その他 — はしばしば不幸せな人に属する。幸せとは、真の個人の魂の成長と進歩の度合いに完全に依存される。コーランは、この世と永遠の来世で、体と魂の両方のために完璧な幸せへの詳細地図を供給してくれている。（付録15）

この証明された経典中の至る所で、神自身が、信者達の今そして永遠の幸せ保証している。

絶対的に、神の味方は、何も恐れることはないし、
何も悲しむことはないでしょう。
彼らは信じ、
正しい道を行く者。
彼らには、この世と来世の幸せ。
それが神の神聖なる法である。
これは本当の勝利である。（10：62～64）

すべての信者達は、唯一認められている宗教を組成している

創造主の最後のお告げから想定される通り、コーランの重要な課題の一は、すべての信者達の統一、そして神の使者達を区別することの再禁止の呼びかけである。もし服従の目的が一つで同じであれば、信者達の間で完璧な統一ができる。それは人間の因子である、すなわち、キリスト、ムハンマド、そして聖人達のような権力のない人間達などへの専念さ、偏見さが識別、嫌悪の原因になり、間違っ導かれた信者達の間で苦い争いとなる。導かれた信者は、神のみに捧げる、そして彼または彼女の宗教がどのように呼ばれようと、他の信者が神のみに捧げているのを見ると喜ぶ。

確かに、信じる者達、
ユダヤ教徒者達、
キリスト教徒者達、
改宗者達、
誰でも
（1）神を信じ
（2）最後の日を信じ
（3）正義な人生を送る者達は、
彼らの報酬を彼らの主から受け取るであろう。
彼らは何も恐れることはなく、何も深く悲しむことはない。（2：62、5：69）

神の聖約使者

付録2に詳細があるように、この本の出版は新しい時代の到来に印をつける — 彼のすべての預言者達によって伝えられた神のお告げが一つにまとめられた時代である。唯一の神、唯一の宗教、「服従」は他のすべての宗教を支配する（9：33，48：28，61：9）。今日、ユダヤ教、キリスト教、ヒンズー教、仏教、イスラム教を含む今日の墮落した諸宗教は、ただ単に消えていくであろう、そして「服従」が普及するであろう。これは人類の単なる甘い考え、また人間達の収集物ではない、これは犯すことのできない神の法である（3：19，9：33，41：53，48：28，61：9，110：1）。

ラシャド・カリファ

ツーソン

ラマダン26、1409*

*この最初の出版の最後のドラフトは、1409年、天命の夜に終了した。日、月、そしてこの日の年をたすと、1444になる、または $19 \times 19 \times 4$ 。（ラマダン26，1409： $9 + 26 + 1409 = 1444$ ）
